



ご近所とのおすそ分けやラジオ体操、グランドゴルフなどの仲間は、地域の皆さんにとって当たり前の営みです。こうしたつながりは、お互いを気遣い、介護サービスに頼らず自宅で暮らし続けるための重要な鍵となります。「つながる通信」ではそういったささえ合いを「お宝」として、発信していきます。

取材先

◇ 太田地区 八幡町会館で毎週日曜に行われる

◇ 始めたきっかけは高齢者の買い物支援！



出店者の人たちと日曜朝市のボランティアメンバー

◇ 買い物だけでなく珈琲も楽しめる

8年前からは、朝市に来た人たちの憩いの場としてカフェの運営をはじめ、今ではすっかり地元の人たちにとって必要不可欠な集いの場になっています。

女性は立ち話をしながら買い物を済ませるとそのまま帰る人が多いですが、男性はこだわりのコーヒーを飲みながら会話を楽しんでいました。

ここに集まる人たちは、八幡町の人たちだけでなくいろんな地区から集まり、みなさんが住んでいる地域のことを話し合える貴重な情報共有の場になっています。

◇ 朝市で出会った気の合う仲間

出店者やお客さんが、この場所で知り合ったことがきっかけとなり、唄やお酒が好きな人がみんなで集まり「そば会」と称して月1回程度楽しんでいます。

チェックポイント

- ・ 朝市をきっかけにつながる「人の輪」
- ・ 継続は「地域の力」なり！

「日曜朝市」



日曜朝市は高齢者の買い物支援として、12年前から始めて今年で延べ実施回数は600回を迎えました。総合太田病院の跡地にスーパーができてからは買い物ニーズは減りましたが、日曜朝市に通う人は減ることなく、今でも継続して活動しています。

朝6時を過ぎると出店者が顔を揃え、売り場の準備が終わる頃「おはようございます」の声と共に人が集まってきて、お目当ての品を買いながら、朝の会話を皆さん楽しんでいました。



買物をしながら会話を楽しんでいる様子



コーヒーを飲みながら談笑している様子

地域のお宝発見～日頃の交流が支え合い活動～ 太田市生活支援体制整備事業

取材先

◇ 太田地区 八幡南町の資源ごみ回収活動

「八幡南3Rの会」 

◇ひとり暮らし高齢者のゴミ出し支援

資源ごみの回収場所が行政センターに変更になり、特にひとり暮らし高齢者がゴミ出しに困ってしまう状況を回避するためにこの活動が始まりました。

活動当時はリヤカーを引いてゴミを回収していましたが、8年たった今では軽トラックで、高齢者のお宅を声がけをしながら一軒一軒回収しているので、それが皆さんの安否確認や見守り活動になっています。

ボランティアの皆さんにとっては、馴染みの顔が集まって会話をしながら作業をすることが、皆さんにとっての交流の場になっているようです。



皆さんに混ざってお孫さんも一緒に缶の仕分け作業



パッカー車が来るまで待機中「男の居場所」

◇気心知れた仲間で支える地域

女性陣は仕分け作業が終わると解散ですが、男性陣は最後の積み込み作業があり、パッカー車が来るまでの間、世間話や地域のことを話し合っていました。お互い顔を見合わせて会話することで、皆さんの信頼関係も深まります。

この3Rの会だけでなく、日曜朝市やカフェなど、皆さんが活動の主旨を共有し、住み慣れた地域を良くしていこうと、楽しみながら生きがいを持って、将来のために活動されていることを強く感じました。

チェックポイント

- ・ 地域の変化にも柔軟な対応でニーズに応える
- ・ 活動の中に楽しみを見つけながら続けていくことの大切さ

◇活動の収益を区の運営費にして

資源ごみの回収を始めた理由はもう一つ。平成24年に総合太田病院の移転により区費が減収し、今まで通りの事業活動ができなくなるため、その活動収益で予算の補填ができればと考えました。

区の運営はもちろんのこと、町内の行事も例年どおりできるようになり、ゴミ回収で使っている軽トラックも区の予算で購入しました。



残った男性陣で最後の積み込み作業

◇『つながる通信』は太田市社会福祉協議会のホームページ<https://otashakyo.jp/>に掲載しております

お問合せ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

電話 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032